



400-626 号
平成 20 年 10 月 20 日

国土交通省・道路局長様

宮崎県串間市長 鈴木 重格



今後の道路行政についての意見・提案の提出について
(回答)

このことについて、平成 20 年 9 月 19 日付け、国道企第 37 号により意見・提案の依頼がありましたので、別紙のとおり回答します。

平成19年11月公表の10ヶ年中期計画は、道路整備に必要な道路特定財源と国民や各地方団体の意見を踏まえ、国土交通省の政策課題と評価により、総合的にまとめ策定された計画であります。本年度5ヶ年中期計画に策定変更される場合にも重要な政策課題として、基幹ネットワークの整備（高規格幹線道路）、地域の自立と活力の強化（生活幹線道路の整備）、安心安全の確保（交通安全に配慮した道路づくり、橋梁等の維持・修繕・延命化対策）など、**地方の意見を随所に反映**していただきたい。

特に、先の中期計画では、基幹ネットワークの整備中、高規格幹線道路整備の中で、東九州高速自動車道（日南市～南郷町～串間市～志布志市間）の早期整備は、関係する市町の永年の悲願でありまして、昨年の中期計画素案の中の点検結果におきまして、一部現国道を活用しながら少ない投資で最大限の効果を上げる高速道路ネットワークを形成する整備手法で決定していただいたことに対し、地元として大変喜び積極的な事業の実施を大いに期待するとともに、串間市将来への活路を見いだせる計画であると感じておりますが、本年5月の閣議決定により、5ヶ年中期計画に変更することで、現在国土交通省において、検討されているところであります。

従いまして、高規格幹線道路の点検作業における評価指標の中の費用対便益の算出に当たりましては、将来交通量の推計により、貨幣価値に換算された従来の社会的便益（走行時間短縮便益・走行経費縮小便益・交通事故減少便益）だけでは、地方は大変不利な条件でありますので、貨幣価値で判断できない地方の特性や地方の安全・安心を確保するための「**命の道**」としての評価項目、例えば、救急車両搬送時間の短縮による「**救急救命上昇便益**」や台風・豪雨等の被災に伴う通行止めなどの規制による時間ロスに対する「**通行規制解消便益**」、更には、高速道路整備により、地方の地場産業・地域振興等の効果による便益（例えば南九州の特性と今後の地域振興に資するため発生する「**食糧供給向上便益**」「**企業誘致・経済振興向上便益**」「**観光振興向上便益**」など）、また地球規模において、CO2減少による「**環境改善向上便益**」といった意見も充分配慮していただき、地方の道路整備の必要性を重ねて要望するものであります。

○現 状

本市は、宮崎県の最南端に位置し、東部は日向灘、南部は志布志湾に臨み、延長7.7kmに及び海岸線を有し、北部は日南市、東北部は南郷町と山で境をなし、西部は鹿児島県志布志市と隣接し、総面積は294.96km²となっており、第一次産業を中心とする典型的な田園都市であります。

しかしながら、昭和30年代後半からの高度経済成長に伴い、産業・情報・サービス等が大都市圏に集中した結果、地方においては、地理的ハンディを負うとともに、若年層を中心とした人口の流出や高齢化の進展により、地域の活力が低下し、過疎化が進行している。

特に本市においても少子高齢化の進行と人口の流出や地域の産業、経済の停滞、更には道路等の生活基盤整備にも大きな格差がのこされるなど、現在もなお厳しい状況である。

○課 題

今後の総合的なまちづくりといたしましては、めまぐるしい社会経済情勢の変化や人々の価値観の多様化等を充分踏まえ、本市の特性に応じ、市域における創意工夫による施策の実施が重要であります。

このためには、高速道路を中心とする安全安心の情報通信基盤の整備と利活用による地場産業振興の強化、都市と農山漁村の共生、企業の誘致、少子化対策、緊急医療対策、観光振興対策や住民参加による地域の経営など積極的な施策の展開が課題であります。

(東九州高速自動車道整備による期待と効果)

本市の目指す、「安全安心のまちづくり」、「地場産業の振興」、「企業誘致活動」、更には「観光振興」など総合的なまちづくりをこれまで以上に推進できる。

◎安全安心のまちづくり

近年、市民生活において、高度な医療を求めて、宮崎市、日南市に急患として搬送機会が増大している。高速道路は、安全で安定した走行を迅速に行えるため、搬送時間の短縮が可能で、その結果相当の救命率が向上する。

また台風、豪雨等による国道220号・国道448号は、土砂崩れによる長期間交通止めが特に多い路線でありまして、平成18年度は国道448号の海岸部において波浪により、海岸が浸食され地滑りが発生。このため交通止めになり、小学生の通学に親が迂回して送り迎えに車で往復4時間を要したり、中学生は学校の近くに一時下宿の生活を余儀なくされたり、又病院通院（市民病院）にも相当の時間を要したりと住民生活に多大な支障が生じた。

以上のような状態にならない又即時解消できる「安心」・「安全」・「安定」した生活を提供できる「命の道」の構築は何事にも優先します。

◎地場産業の振興

南九州地域は、農林水産物供給地帯としての役割を担っております。特に本市は、寿甘蒟や完熟キンカンの生産量が日本一でありまして、その他に日本一早い超早場米やマンゴーの果樹類。水産物としてのブリ・カンパチなどの養殖産業、更には林業に代表される飢肥杉等豊富な農林水産資源等を有しており、これら安全で良質な農産物をいち早く消費地に届けるため、短時間輸送の実現と市場の拡大が展開可能となり、地域の活性化に大きく寄与できます。

◎企業誘致活動

企業誘致による就業機会の増大と人口の増加は、過疎からの脱却するため永年の課題であり、企業誘致活動の中でも、交通アクセスの整備されていない地域は、すぐに断られる状況もあります。このことは、高速道路の有無が重要な要素であり、高速道路整備により、既存の福島港や上ノ城工業団地の積極的な企業誘致の活動、更には企業の立地が促進でき、地域活性化が図られます。

◎観光の振興

県南地域は、日南海岸国定公園内に位置し、恵まれた自然と地域の特性を有している。

特に国道448号沿いの海岸線は、観光資源の宝庫であるが、交通アクセスが悪く宮崎市より時間（所要時間：約2時間）がかかり過ぎる等のハンディがあるため、積極的なPRを行っているにもかかわらず観光客が減少の傾向にあります。

従って、高速道路の整備により、所要時間の短縮が今まで以上に図られ、串間市の総合的地域特性を最大限利用し、訪れる人に心よりのおもてなしと、ゆったりとした癒しの空間を提供することにより、リピーターを含めた観光客の増加と観光振興のまちづくりがこれまで以上に推進できます。

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他、意見
基幹ネットワークの整備	東九州高速道（日南市～南郷町～串間市～志布志市） 約41kmの早期整備について	高速道路は、国内を循環型の高速ネットワークを形成し、地方の自立ある発展に資する地域間の交流、連携を促進するばかりでなく、災害時の代替であるとともに、緊急医療においては、患者の生存率を向上させる「命の道」となる重要な社会資本であります。	高速道路の建設は、長期間を要する事業であります。特に日南市から志布志市間は、先の中期計画の点検時に一部現国道を利用し、整備を促進する区間に位置づけられ、国におきましても限られた道路整備財源により、最大の投資効果を求められる区間でもありません。 従いまして、選択と集中の基本方針に基づきまして、優先して整備する区間の設定を早期にさせていただき、一日も早い着工を希求するものであります。
安全安心の確保	国道220号の歩道設置を含むバリアフリー対策 ①JR串間駅より南側約700m間 ②JR串間駅より北側約200m間 ③JR串間大東駅より北側の県道都城串間線交差点改良 国道448号の災害に強い道路づくりと観光振興のまちづくり	市民生活の中での安全性・利便性を確保する。 本路線は、日南海岸国定公園と都井岬・市街地を結ぶ唯一の幹線道路であります。 しかしながら、最近では異常気象を含む台風等により、海岸部が浸食を受け、地滑りが発生し、交通止めを余儀なくされ、関係する住民は、一時的孤立や時間をかけて迂回したりと日常生活に不便を期す状況であります。 また、本路線の沿線には、風光明媚な市木海岸の亜熱帯樹林・芋を洗い食する幸島の文化猿・都井岬の野生馬と自生する蘇鉄の群生や群青の海・串間温泉いこいの里・日南串間ゴルフ場、更には、レクリエーション施設として、総合運動公園などが点在し、訪れる都会の人びとにゆったりと癒しの空間を提供できるものである。	